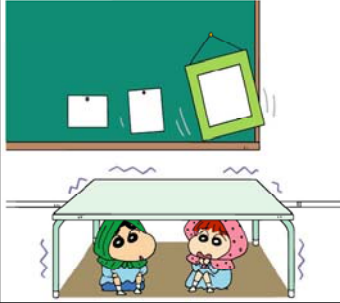


# 「大きな地震がおこったら・・・」

## 大きな地震がおこったら・・・

## あわてずに行動しよう！！

**学校**にいたら？  
先生のいうことをよく聞いて  
つくえの下などにかくれて身を守ろう



**家の外**にいたら？  
ブロックべいなど、たおれたり  
おちてきたりするものからはなれよう



**人がたくさんいるところ**にいたら？  
あわてて出口に走り出さず、係の人に  
したがって行動しよう



**電車・バス**にのってたら？  
急ブレーキにそなえて、手すりなどに  
しっかりつかまろう



学校にいてるときに地震がおこって、強いゆれがきました。その時あなたは どうしますか？

左のイラストは、地震の強いゆれから身を守る行動の例です。しんちゃんも防災ずきんをかぶり机の下にかくれています。このようにまず頭を守ることが大切です。強いゆれがおさまるまで、このままでいましょう。

家の外では、ブロックべいが倒れてきたり、看板やガラスなどが落ちてくるかもしれません。あぶない場所からはすぐにはなれましょう。その他にもいろんな場面での正しい行動をとれば良いかをみんなで考えてみましょう。

©臼井儀人/双葉社・シンエイ・テレビ朝日・ADK  
リーフレット「緊急地震速報って知ってる!？」(気象庁より)



2015年	1月7日	水曜日
平成27年		
福岡管区气象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

## 強いゆれが来る前に知らせるよ

## 緊急地震速報

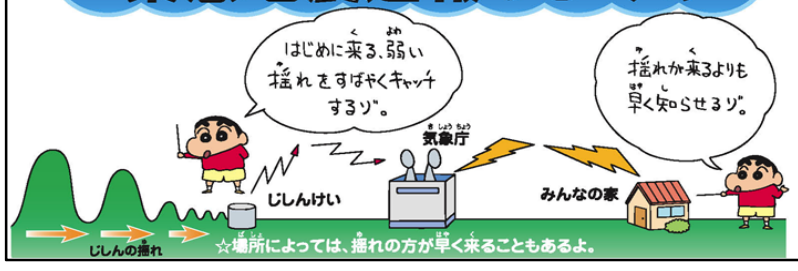
緊急地震速報は、地震による強いゆれがくる前にみなさんへお知らせする情報です。

この情報は、テレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンなどで見たら聞いたらすることができます。

緊急地震速報を見聞きしてから、強いゆれが来るまでの時間は、数秒から数十秒です。この短い時間でも、あわてずに身を守る行動をとることができるように訓練することが重要です。学校で行われる訓練などで、行動をしっかりと身に付けましょう。



### 緊急地震速報のしくみ



- 行動のポイント**
- 緊急地震速報を見聞きしたら、すぐに身を守る行動をとる。
  - いきなり強いゆれがくるときもある。ゆれを感じたら、すぐに身を守る行動をとる。
  - 地震による強いゆれは、長くても1分程度。その間は身を守る行動をとり続け、ゆれがおさまってから落ち着いて行動する。

### 「断層」ってなに？



1995年の兵庫県南部地震のときに地表にあらわれた淡路島の野島断層

地震は、地下の岩が周囲から押されることによって、地面がずれることで起こります。このずれによって、ゆれがおこり、ゆれが大きいときには多くの被害をもたらします。このずれを断層と呼びます。

地震のおこった場所が浅くて、ずれが大きい時には、左の写真のように、断層が地表にあらわれることがあります。

## 「お天気 Q&A」

Q: 日本で地震がおきない場所がありますか？

A: 日本では地震が発生しない場所はありません。人がゆれを感じないような小さな地震は日本中で毎日発生しています。

また、数十年～数千年という間隔で、くりかえし大きな地震がおきている場所もあります。これらは、調査されていますが、まだ発見されていない場所もあると考えられます。

これらのことから「大きな地震が絶対おきない場所」はありません。

気象情報へのアクセス

地震津波防災訓練の手引き	QRコード
地震津波防災訓練 検索	
緊急地震速報の訓練には	QRコード
訓練キット 検索	